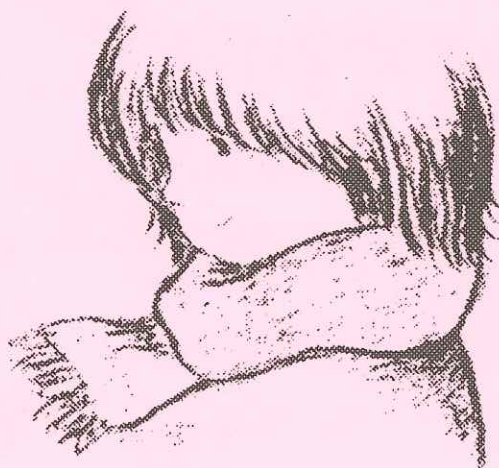


応募作品

- 1 応募いただいた 58 作品のうち、応募された方に掲載のご了解をいただいた 40 作品のみを掲載しました。
- 2 作品番号は、順不同に付けたもので意味はありません。
- 3 掲載のご意向を伺った際に、応募された方から「作品の講評をしてほしい」とのご意見も寄せられました。しかし、報告書の中にも記しましたように「結果的に宣言は 1 つの作品になりましたが、他の作品が良くなかったから宣言にならなかったということでは全くなく、西東京市の宣言は 1 つにしなければならなかったという現実のもとに 1 つになったにすぎません。ですから、西東京市のこの『非核・平和都市宣言』の中には、58 作品のすべての想いが込められているのはもちろんのこと、応募までにいたらなかった多くの人たちの願いと想いが込められたものと、理解すべきと思っております」のでご理解いただきたいと思います。
- 4 それぞれの作品の中に込められた想いを、今後の非核・平和事業の中に生かしていただければと思います。



応募作品 1

核兵器の使用は 地球を破壊し ひいては
人類社会を滅亡へと追いやることである
これは 絶対に許してはならないことでもある

私たちは、忘れない原爆の広島・長崎を
熱い熱いの苦しみの跡原爆ドーム
水を水をと求めた浦上川

世々重ねて起こることのなきよう伝えたい

私たちは、訴える 核兵器を使って
すべての生命を滅亡させてはならないことを
この市民の声を私たち西東京市の 宣言とする
『非核・平和都市』西東京市の宣言とする

応募作品 3

私たち西東京市民は、
恵み豊かな山も川も、そして海も持っていません。
しかし、明るい笑顔と思いやり、そして
平和を愛するところを持っています。
また、なによりも世界に誇れる平和憲法も。

私たち西東京市市民は、
戦争で人々が傷つくこと、家を失い飢えること、
そして地球の荒廃を望みません。
戦争が無くなり、全ての人々が自然を愛し、ささやかでも
平和な生活が出来る時代が来ることを望みます。

私たち西東京市市民は、
罪なき人々を苦しめる地雷や、地球を滅亡させる核兵器を、
いかなる国でも製造し保持することに反対します。
そして、人々が集いあい思いやりを持って、
問題解決のために話し合うことに賛成します。

私たち西東京市民は、
いかなる “正義のための戦争” も信じません。
全てのこどもたちが伸びやかに学び育まれる
平和な未来を信じます。

私たち西東京市民は、
この声を世界に広く訴えるために
非核・平和都市 西東京市の
宣言とします。

応募作品 4

非核・平和都市宣言

私たちは生きている。
おおくの人々が、それぞれの習慣や宗教をもち
様々な考え方と、異なる環境の下で生活している
この地球で

私たちは持っている。
この地球上で、健康で幸せな生活をする権利を
異なる考え方の人々を差別しない義務を

私たちは知っている。
おおくの人々が、今なお戦争で傷つき命を失っていることを
住みなれた平和な生活の場を追われて飢えてきたことを
私たちは訴える。

必要なのは笑顔での話し合いであることを
必要なのは人類愛と思いやりであることを

私たちは宣言する。
あらゆる人を傷つける地雷や武器をなくすことを
あらゆるものの破滅を招く核兵器をなくすことを
地球上から戦争をなくすことを。

私たち市民のこの声と願いを
世界に広く訴えるために
非核・平和都市 西東京市の
宣言とする。

応募作品 5

非核・平和都市宣言

私たちの先祖は、偉大な文化を築き、
文明を切り拓いてきました。
しかし、それは同時に、
おろかないがみあいと戦争を繰り返す
悲劇の歴史でもありました。
そして今でも、多くの人々が戦いに傷つき、
愛する人を失って悲しみにくれています。
戦いが終わっても、今なお核は人々をむしばみ、
無数の地雷は、多くの人々を傷つけています。

さあ みんなで訴えましょう
武器は捨てよう
戦いはやめよう
核は無くそう。

さあ みんなで訴えましょう
つどいあって、話し合おうと。
力ではなく英知で、

それが平和で豊かな地球を取り戻すための

私たちの新しい歴史の始まりです。

私たち市民のこの声と願いを

世界に広く訴えるために、

非核・平和都市 西東京市の

宣言とする。

応募作品 6

核のない
平和な都市を
宣言し
手をたずさえて
あたらしい
西東京市
築いたる
田無と保谷

憲法を
世界に誇り
守り抜き
足並みそろえ
すばらしい
西東京市
子や孫に
伝えて行こう

応募作品 7

私にとって、あなたにとってかけがえのない家族。
子供達の笑顔があふれ、四季のなかで彩られる西東京市の暮らし。
毎日が穏やかに過ぎていく、平和な暮らし。

この同じ時代に、同じ地球に戦いがあること。戦争があること。
忘れてはならない。

寒さに震え、飢えに苦しむたくさんの人がいる事を。
しかし、争いは何も生み出す事はない。過去の被核の悲しみは、
二度とくり返さない。

いま、私ができる事

それは、戦争を許さない事。戦争への道をつくらないこと。
平和を願う世界中の人たちと手をつなぎ非核、平和を伝えること。

私は、誓う。

緑がゆれ、小鳥がさえずる。この平和の喜びを
そして、穏やかで幸せな暮らしをしっかりと次の時代にひきつぐことを。

この市民の声と願いを非核、平和都市宣言とする。

応募作品 8

朝、平和な世界に目をさます喜び 木もれ日の中 小鳥のさえずりを聞き
木々の香りする澄んだ空気 胸いっぱい吸いこんで
今日もこの町の生きていることに感謝する 自然あふれる西東京市の美しさ
核には絶対壊させない！

お母さんは朝ご飯を作り お父さんは仕事へ出かけ 子供たちは学校へ
おじいちゃん庭仕事 おばあちゃんはお裁縫 微笑みで始まる静かな一日
核には絶対奪わせない！

この西東京市に核はいらない！ あたりまえすぎて忘れそうになる
この平和な町に暮らす幸せ 明日もあさってもずうっとずうっと
この幸せ守り続けたいから

私達の子供達にも きれいな世界を残してあげたいから

西東京市に核はいらない

美しい町を壊す核はいらない！

愛する人を奪う核はいらない！

この地球上に核はいらない！

この市民の声と希望を 非核・平和都市西東京市の宣言とする。

応募作品 9

核のおそろしさを 私達は知っている 何度もくり返すまい
全世界が核のため 今なお苦しんでいる人々の声
耳をかたむけよう 行動しよう 緑り豊かな 水豊かな地球
生命を持つすべてを 破壊しつくす核 地球にいほらない
なぜなら平和でありたいから

私達は新しい 西東京市の誕生にさいし 市民の声を大にして
非核・平和都市宣言をする

応募作品 10

戦争は、そして核兵器は、この緑の大地を破壊するだけ。
鳥たちのはばたく空を汚すだけ。澄みとおった心の泉を濁らすだけ。

子どもたちの笑顔を絶やしてはいけない

このまちから願おう。安心して、身をゆだねられる地球であり続けることを。
誓いの声を合わせ、いのちの尊重を、心の安らぎを、すべてのものの平和を、
私たちの願う永遠（とわ）の平和を私たち自身で叶えるために、
核兵器のない世界を。

応募作品 11

私たちが 悩めるとき、悲しいとき、海を見つめ続けるのは
万物を生み出した母なる無限の泉に癒しの輝きを見たいから。

私たちが 言葉につまり下を向くのは 裏側の国々と足元でつながる
偉大な大地に 答えを求めるから。

核兵器は、戦争は、この緑の大地を破壊するだけ。

鳥たちのはばたく空を汚すだけ。澄みとおった心の泉を濁らすだけ。

このまちから願おう。

安心して、身をゆだねられる地球であり続けることを。

誓いの声を合わせ、私たちの願う永遠（とわ）の平和を
私たち自身で 叶えるために 核兵器のない世界を。

応募作品 12

原子爆弾という最大の恐るべき核爆弾を、私は長崎で体験した。閃光と爆風で、数十万人の尊い命が一瞬にして奪われてしまったのを、自分の目で確認した。

平和で幸福だった市民と、緑や動植物、建造物もすべて、芥屑の如く飛散されてしまった。

何の罪のない人間や動物たちが、核爆弾のために平和と幸福を奪われたことを今だに忘れない。

二度と核戦争を勃発させてはならない、世界中の人と人々が手を取り合って核爆発防止を協力して防止する以外に核をこの世からなくすることはできないであろう。

応募作品 16

21世紀の初頭に西東京市が生まれた。

武蔵野に広がる田無・保谷の歴史を受け継ぎながら、緑と清らかな空気に満ちた幸せで憩いのある街にしたい。

20世紀は、科学技術のめざましい進歩があり、民主主義や植民地の廃止など人類に多くの成果をもたらした世紀であった。しかし、20世紀は悲劇のヒロシマ・ナガサキを象徴としながら殺戮・破壊に暮れ、環境の破壊・汚染も地球の至るところに及んでいる。そのかげに強いもの、裕福なもののみの特権が横行するなら、飢餓・貧困・病気やテロと戦争の危険は残り続ける。

人類は自らの尊厳と生存のために話し合いによる平和維持と相互理解・相互援助に心を用いなければならない。特に権力と支配の“最後の砦”となっている核兵器の廃絶を急がねばならない。それは、世界が平和に共存していくための最初の入り口であるからである。世界が信頼と友好の関係を高め真の平和を実現していくために、知恵や善意の努力とねばり強い協同の取り組みが不可欠であろう。私達はこの事業の一翼に参加しながら一日も早い成就を願う。これは21世紀に対する西東京市民の深い思いである。

ここに「非核平和都市」西東京市を宣言する。

応募作品 17

20世紀は戦争だらけの血まみれで不幸な苦い時代だった

21世紀はテロと報復をくりかえす新たな戦争で再び不幸な時代となるのだろうか

戦争は 最愛の夫や息子を父や兄を 家族から奪った 原子爆弾は広島・長

崎を一瞬に壊滅し罪もない女・子供まで殺し無数の人間を破壊した
戦争も テロも 報復もやめよう 核兵器を廃絶しよう
若者よ全市民よ 特に日本国憲法の前文と第九条の理念を踏まえて
平和と人の生命を守り抜こう みんなで 仲良く楽しく助けあい愛しあい
今日一日を精一杯生きていこうよ
この市民の声と誓いを 非核・平和都市西東京市の宣言とする

応募作品 18

まるい地球に 人は平和に生きたいとのぞんでいます
こどもも大人も 女性も男性も 貧しい人も・富める人も
黒・白・黄色い人も 大切な命は平等でありたいと
手をしっかりと握りあい ひとみの奥を見つめあい
こころのひだを感じあい あらゆる命を 話し合っ て 和をつくりたいと
青い地球に 人は賢く生きたいと望んでいます
宗教も文化も歴史のちがいを学び 人として破壊する過ちを繰り返すまい
武器も核もない平和な町(都市)をつくるのは 私たち

応募作品 19

「市民が共に生き愛する平和 心豊かに育む平和 広がれ。核のない平和」

応募作品 20

平和は誰でもが望む 大切なもの 争い事もない 事故もない
安心して暮らせる 平和な生活こそ
西東京市市民 最大の願いだ まして戦争なんて 人類の敵
核の被害も もうごめんだ

応募作品 22

平和、それは生命を生み育くむ母の願い、全人類の願いです。
戦争・核兵器・それは地球のあらゆる生命を滅亡させるサタンです。
正義のための戦争など、ありえない。一度核を使えば、人類のよろこびも
希望も、子供の未来も消えてしまう。
戦争程、残酷なものはないと。ある識者は語った。私達も語ろう、「地球上
に核兵器が一個でも残っている限り、平和が訪れないことを、人間の生命は

なにものにも替えられない大切なものであること」を、
生命の重さを私達は忘れてはいけない。
知誠の人は根気よく話し合うことが大切なことを知っている。
世界中の人に訴えて行こう。
明日の平和が、たしかに訪れることが信じられる世の中を築くために。
私達市民は、この願いを、この声を世界中の人に広く訴えるために、
非核・平和都市。西東京市の宣言文とします。

応募作品 23

戦争の世紀が生み出した悪魔の化身原子爆弾、東西冷戦の覇を競って積みも積んだり3万発、原爆の父オッペンハイマーの良心はおののき、悔恨の一言、「まぎれもなく侵略者の兵器」、おのが国益を押し通すにジェノサイドの威嚇、平和に対する罪、人倫への背反、文明の破壊、知性も品性もない破廉恥な国家主義のあかし、絶え間なき紛争に難民二千万人、更に増加中、幻滅と憎悪は旅客機をも巨大な爆弾に変える、多数の飢餓を忘れて先進国のみの方榮はない、貧富や肌の色に差別なく命の重さはみな同じ、目覚めよ人類愛に。威より徳、北風より太陽、その富を殺戮と破壊から安寧と福祉にまわせ、その優越を誇らず全体の調和と進歩につくせ、これぞ大国の度量、大国の矜持、テロ根絶策、世界が核とテロの恐怖から脱し信頼で結ばれ、異なる宗教や考え方を理解し互いに認め合う、新世紀の曙に生れた西東京、市民はかく願う。

応募作品 24

核兵器は地球から何もかも 奪い去る
生ものの いのちだけでなく
季節や自然まですべてのものを奪い去る
そして 永く暗い影を未来に落とす
そのことを 私たちは知っている
だからこそ
自然の多いこのまちで
平和な暮らしを まもるために
青い空が くもらぬよう
豊かな未来を まもるため
子供の笑顔が くもらぬように
みんなの心をひとつにして平和を誓う

応募作品 26

なにごともしる 平和にまさる ものなし 知恵 行動 実行

応募作品 27

新しい世紀、人々は同じ過ちを繰り返している
戦争は愚かなはずなのに、また繰り返している
もう戦争はたくさんだろう
争うことの無意味さを学んだはずである
人々のささやかな生命の大切さを学んだはずである
愚かさ悲劇はずっと繰り返したくはない
笑顔や幸福にあふれた平和を抱きしめるために
続いている未来を抱きしめるために

応募作品 28

「未来に残そう自然と平和 やめよう邪法と覇権」

応募作品 30

私たちは しわあせだ、と 心のからの声を
この地球は 聞いたことことがあるだろうか。
私たちは 知っているだろうか
戦乱と暴力のさかまく人間の歴史が、
どれほどの若者達の可能性を 奪ってきたか、を。
核兵器はすべてを奪う暴力だ、ということ。
すべての核兵器がなくなる日まで
私たちは しあわせにはなれないのだ。
この市民の声を 非核・平和都市 西東京市の宣言とする。

応募作品 32

私の願い 日本中の人々の願い 世界中の人々の願い
核兵器のない 平和な都市であることを
私たちは 戦争のひさんさ核兵器のおそろしさ
そして生命の大切さ 決して忘れてはならない
子ども達が若者が 目を輝かせて緑多い自然の中で
夢を 希望を 語り合えるような 平和な都市でありたい

応募作品 33

人類の世界史は 文明の進化と戦争の連続
二十一世紀に入っても 戦争の火はなくなる
あなたは自覚しているのか？

核戦争は 人類を一瞬にして消滅することを

私たちは むかしから 平和を叫び
いまも 平和を願い
これからも 平和を祈る

果てしなき宇宙 人類にかけがいのない星
地球が汚染におかされて発する 自然現象のシグナルを
あなたは無視してるのか？

環境破壊は 人類滅亡の道をたどることを

私たちは 力を合わせて 平和を誓い
人類の理性と知恵を結集して
核を廃絶し戦争を放棄する

私たちは 子孫に責任を持ち 人類の愛と善意を信じ
心ゆたかに住みよい地球を守ろう

非核 平和 西東京市の宣言する

応募作品 34

生まれてよかった この地球に あなたと出会えてうれしい このまちで
新しい朝、めぐる季節 時のなかに 静かに脈うつ生命のながれ ものみな
奪わない、こわさない 平和を求め手を結び分かち合う私たち だれもが
ここに誓う 非核平和都市・西東京市を

応募作品 35

進もう 平和をつくる道を 広げよう 私たちの心を
違いを認め合い 共に生きる 世界のみんなと
恵みを分かち合い 未来をつなぐ 地球のみんなで
西東京市市民は宣言する
非核平和都市をここに築くことを 揺るがない意思で

応募作品 37

一番大切なこと 一番やらなきゃならないこと だれもが忘れかけている
生い茂った緑を 優しさ溢れる母の手を きらめく星空をどこまでも響く歌
声を逃げてはいけないことがある やらなきゃいけないことがある
信じ合える仲間を作ろう
理解が理解を生み 笑顔が笑顔を生む 憎しみは憎しみを生み争いは争いを
生むそして人の心が平和を呼ぶ

応募作品 40

厚く雲におおわれた空 汚染された草の大地 瓦礫と化した街
あらゆるものが死滅しかかった地球 核兵器のボタンひとつで
こんな未来を私達は子供に残すことになるかもしれないのです。
青くすみきった空 深い緑におおわれた大地 生き生きと活動する街
やさしさと思いやりにあふれた 平和な地球をずっと残すためにも
私達は核兵器撤廃を世界にむけて ここから発信したい。
そして非核・平和都市西東京市をあらためて宣言したい。

応募作品 44

緑が失われ、自然が失われ、人々が殺し合い 核兵器に怯える空と海と大地。
これが私たちの街ですか？ これが私たちの地球ですか？
そんな地球にたくありません
私たちは誓う！ 青い地球と平和を、
私たちは誓う！ 永久（とわ）に共存することを！
私たちの街から世界へ

応募作品 45

私たちは答えて欲しい なぜ これ以上 人々をころすことのですか
なぜ 殺し合いたいのですか どうして地球を壊したいのですか
二十一世紀の戦争は 核兵器は 生命（いのち）あるものことごとくを
地球を丸ごと滅ぼすというのに自分は 自分たちだけは安全だ幸せだ と
どうして信じられるのですか
私たちは訴えます 戦争は 核兵器は あらゆる兵器は

地球破壊の狂気の無駄使いである と
人間の信頼と尊厳を吹き消してしまう と
私たちは誓います もちろんこれ以上 敵対と好戦で
みんなの地球を みんなの生活を 無茶苦茶に壊さないために
全ての争いと 憎悪の連鎖 無血解決して行くために
地球上から戦争と核兵器を根絶するまで 決して諦めることなく
情熱（こころ）を込めて 話し合い 手を結び合って
恵み豊かなこの地球の緑と平和を 子々孫々へ引き継ぐことを
西東京市・市民としてここに宣言します

応募作品 46

難しくないよ 幸せになることは 皆が仲良く生きたいと思えば自然と幸せ
になるんだよ ただそのためには 約束が必要なんだ
核は使わない 核は何の解決にもならない ただ 悲しい思いをする人が増
えるだけ 何もしていないのに 家族や 自分の大好きな人が死んでしまう
なんて悲しすぎる だから 核は使わはしない

— 12 —

皆が平和に生きたい 平和に生きよう と思えば 皆が平和に生きる
ための何かが誰にでも どんな人とでも することができるよ
それに 平和に生きることってとても大切だけど なかなか実現でき
ないんだよね
だから 私たちは みんなが平和に生きられるように 皆が努力をする
これを約束します

応募作品 47

ふるさとの朝の音、さえずる鳥の声、小さく響く、洗濯機と包丁のリズム、
鼻をくすぐるおみそ汁の香り、ふるさとに似た町、
明るみ始める空に少しずつざわめきを覚える世界、
朝の音がね、生まれ育った町に似てるって、
今日も幸せであることを祈って手紙を書く、
そして、おだやかで素敵な一日のはじまり
なにげない毎日を過ごすことを願う
これを非核・平和都市西東京市の宣言とする。

憲法擁護・非核平和都市の宣言

平和な暮らし羽、人類共通の切なる願い。
しかし、今も、この地球上から戦火は絶えない。
わたしたちは、20世紀に、戦争の愚かさを、
大きすぎる犠牲を払って学んだ。
アジアの人々に取り返しのつかない過ちを犯し、
日本人も苦しい思い経験した。
わたしたちは、この世界から戦争がなくなるまで、
平和をもとめつづける。
わたしたちは、さらに考える。
平和な暮らしとは、単に戦争がないだけではない、と。
ひとりひとりが自由に生きられる社会。
様々な考え方ややり方を、お互いに認め合い、尊重し合う社会。
豊かな環境に恵まれた社会。
生まれてから老いるまで、健康で文化的な生活が保障された社会。
平和な暮らしとは、
ひとりひとりが、民主的な社会で自由に幸福に暮らせること。
歴史と現実から目をそむけず、
その教訓を今にいかすため、
未来に向けて、
わたしたち西東京市民は、西東京市が「非核・平和の地域」であることを
ここに宣言し、以下を誓う。
その誓いをもって、「憲法擁護・非核・平和都市宣言」とする。

平和な暮らしと核兵器の廃絶のために一

- 1 わたしたちは、憲法の非武装・平和原則をまもる。
- 2 西東京市は、市内（地上、上空、地下を問わず）における核兵器の生産・貯蔵、配備または設置を、例外なく認めない。核兵器および軍事用途の核物質の通過も、これを認めない。
- 3 西東京市は、軍事用途以外の核物資について、議会および自治体の許可なしには、市内での生産、貯蔵、設置または通過をさせない。その際、平和目的であることまたは安全性に、わずかでも疑問がある場合は、許可しない。
- 4 わたしたちは、近代以降の戦争のほとんどが「正義」や「防衛」の名目

によって行われたことにかんがみて、いかなる戦争も認めない。西東京市は、いかなる状態においても、戦争に協力する事務または業務を行なわない。

- 5 西東京市は、市内におけるいかなる軍事行動・軍事演習も認めない。また、いかなる軍事施設の設置も認めない。
- 6 わたしたちは、民主主義社会の実現と発展のために、様々な考え方ややり方を、お互いに認め合い、尊重し合う。
西東京市は、民主的な社会の実現と発展のための施策を、積極的に展開する。
- 7 わたしたちは、差別や偏見をなくすようにつとめる。
西東京市は、そのための施策を積極的に展開する。
- 8 わたしたちは、地方自治の発展をめざす。
西東京市は、市民参加および市民との協同の拡充と発展をはかる。
- 9 わたしたちは、環境の破壊、悪化を許さず、自然との共生を目指す。
西東京市は、環境と市民の健康を最優先する。
- 10 西東京市は、だれもが幸福に暮らせるよう、福祉の充実をはかる。
- 11 西東京市は、未来を担う若い世代に、過去の戦争の加害と被害の事実や現代社会の様々な困難な問題から戦争の悲惨さと愚かさを伝え、平和な社会を築く人として育てるようつとめる。
- 12 わたしたちは、平和を願う世界の人々と連帯し、平和な社会を築く。
- 13 西東京市は、市民とともに平和行政を積極的に推進する。
- 14 西東京市はこの宣言を遵守し、市民への徹底をはかる。

応募作品 50

互いに律する意志をもち 愛と癒しを 共有しよう。

応募作品 53

私たちは戦争・テロなど一切の、愚かな争いごとを排除し、平和な世界と自然の豊かな地球の再現に貢献するようにつとめます。

応募作品 54

地球唯一の被爆国日本
広島・長崎に原爆投下されて街が一瞬にして跡型もなく消えた
息もたえだえに びらびらと肉体のらんるをまとい

水 水 水 水を求めてのたうちまわり
嵐のように 怒濤のように 叫び 怒り とまどい あがき苦しみ
死んでいった人々。これは 絶対許すことはできない!

地球 それは 山脈の木木の葉づゆしたたる自然
森羅万象 共生するところ 手を取りあって 暮らしを守ってきた私たち
一日のおわりに家族がほっとして集うところ 私たちは平和を信じ
深い思いを寄せあい 地底から発ちのぼる いのちのぬくみを感じて
あしたへの希望に新たないのちをふるわせる
私たちはいのちを張って訴える

地球を 核兵器で破壊することは断じて許さない!
このかけがえのない地球に 核兵器はいらない!

応募作品 55

私達はあらゆる戦争を許さない この街と私たちの平和のために
平和のある幸せな暮らしのために

どんな正当なり理由があろうとも 核を持ち 傷付け 友と争うことを
私達は許さない

人と緑とその他の命あるもの全て その幸せのために
手を取ろう お互いに歩み寄ろう 怒りや憎しみは何も生み出せない
だから私達は永遠の平和を望む そして そう望み続ける事を誓う

応募作品 57

長崎の地を訪れた ——
街は観光客や地元の人で あふれかえっていた。船が行きかっていた。
みな、何もなかったように、笑顔で観光名所を訪ねていた。しかし、
忘れていけないことがある。今、一步 一步
なにげなく歩いているこの大地に起こったことを。

1945年8月6日に広島・9日に長崎 両地に原爆が落とされた。
たったの1つで何万もの人々の命が失われた。
家族・親戚・愛する人が瞬時に失われた。
56年過ぎたのに、まだ“後遺症で”悩んでいる人々が大勢いる。
これが核兵器の恐ろしさだ。

今も、この広島・長崎の地には — 舗装された道路の人には、
たくさんの人々がいる。

私達は、この事実をきちんと受け継ぐ義務がある。

それは原爆の悲惨さを伝えるだけでなく、核兵器を

これからどうすべきか。平和な世の中にするにはどうすべきか。

まだ、答えは見つからないかもしれない。

しかし、その考える課程が大切なのだと思う。

もう一度 じっくり考えてみる時だ。

「非核・平和はみんなの願い」そのことをわすれずに……。

応募作品 58

平和であることが脅（おびや）かされている。

目を閉じて（改めて）考えよう。

平和とは何かを、

平和であることの尊さを、

平和のための戦争などないことを、

武器などいらぬことを、

そして、なぜ争いをするのかを、

戦いへ行く自分を想像してみよう

殺しあう自分を想像してみよう

死の恐怖に怯おびえる自分を想像してみよう

殺しあうことの無意味さ、悲しさ、醜くさを（知るだろう）

子供たちの笑声、歌声を聞いてごらん、争うことをやめるだろう

愛する人のために戦うのはやめよう

戦わない勇気を持とう 争いからは何も生まれぬことを

憎しみが憎しみを生むことを 知っているはずだ

過去の誤ちを繰り返さないことを

誓おう

貧困で苦しむ人々も瞳は美しく心は我々よりも豊かなのだから

人類が平和であることを願う

「非核・平和都市宣言」に込められた思い

発行日	2002年1月21日
企画・編集 事務局	西東京市平和都市宣言市民委員会 西東京市市民生活部生活文化課 〒188-8666 西東京市南町 5-6-13 Tel 0424-64-1311(内)1425 Fax 0424-63-9585